

令和2年9月18日

佐野市長 岡部正英様

佐野市議会議長 春山敏明

佐野市議会訪問型議会報告会における佐野高校の生徒の政策提言等について  
(報告)

佐野市議会訪問型議会報告会を開催しましたが、次のとおり佐野高校の生徒から市政に関する政策提言及び意見交換での意見、要望、提言等がありましたので報告します。

<p>1. 開催日時及び場所</p>	<p>令和2年7月11日(土) 午後2時～午後3時30分 栃木県立佐野高等学校 選択教室4(全体会)、選択教室3、英語演習室、図書館</p>
<p>2. 生徒からの政策提言、意見交換での生徒の意見、要望、提言等及び議員の所感</p>	<p><b>【クリケット班】</b></p> <p>①政策提言の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、佐野市は国際大会を催すなど、クリケット振興に熱心に取り組んでいる。その結果、多くの外国人が佐野市を訪れているが、中高生は関心がない。</li> <li>・高校生は海外の文化に興味があるから、クリケットを使った国際交流を提供すれば、市民のクリケットへの関心が高まり、外国人の方も地域とのつながりが深まり、佐野市の多文化共生の第一歩となるのではとの仮説を立てた。</li> <li>・U-19サモア代表、U-19スリランカ代表と国際交流会、クリケット体験会を開催したところ、今後の外国人との交流に自信を持つきっかけになったことが事後のアンケート調査でわかった。</li> <li>・中高生が市民と外国人を繋ぐ役割を担うことができる。</li> <li>・教育委員会や地域機関と連携し、国際交流会、クリケット体験会を市内の中学、高校で実施し、国際交流の輪を広げて、持続可能な貢献を目指していきたい。</li> <li>・クリケット政策は依然として一部の関係者のみで推進されているように思う。市民全体でクリケットと佐野市を応援していきましょう。</li> </ul>

## ②意見交換での生徒の意見、要望、提言等

- ・クリケットを盛り上げていく動きに対し、周りの方が無関心でいることに問題意識を抱きました。
- ・クリケットを通して外国人と交流し、価値観を広げもっと世界に目を向けてもらいたい。
- ・クリケットに興味を持ってもらうには、SNS使って学生にアプローチすると良いと思う。
- ・クリケット場まで行くアクセスが大変。駅前からバス等の整備があると足を運びやすくなる。
- ・学校でクリケットに触れる機会を提供することが重要だと思う。
- ・佐野新都市周辺でのクリケットの広告、取り組みを増やすべき。
- ・国際クリケット場をクリケット以外で利用する方法を考えてほしい。(スポーツジム等)
- ・市民からのアイデアを聞き出せる機会・システムを構築した方が良い。みんなで考えることが地域活性化には大事だと思う。

## ③議員の所感

- ・「クリケットと多文化共生」をテーマにした研究は、調査に基づく仮説を立て、それを自ら検証し、体験も交えて具体的な要望に繋げるもので、極めて論理的で、且つ、現実に即した取り組みであると感じた。特に、誰かにその解決を委ねるのではなく、自分たちがその中核的な役割を果たすとの主体性に、地域に対する熱く真剣な思いと、未来への責任感を感じ、これは、私たち大人たちも学ぶべき点であると言える。

## 【多言語メニュー班】

### ①政策提言の内容

(現状)

「外国人観光客が旅行中最も困ったこと」では、「多言語表示の少なさ」と「コミュニケーションがとれない」を合わせると42.2%であった。

(研究テーマ)

「佐野市においてどうすれば外国人観光客の感じる言語の壁をなくせるか？」

(仮説)

外国人観光客が日本語を使わざるを得ないレストランメニューを多言語対応させれば佐野市がより外国人観光客にとって心地良い場所になるのではないかと。

(考察)

英語のレストランメニュー（紙・Web版）を作成して、クリケットの国際大会にてお店にメニューを置いていただいた。外国人の利用者にインタビューしたところ肯定的な評価であり、英語のメニューは有用であるとわかった。英語メニューの普及はレストラン側も新たな顧客を獲得でき、双方にメリットがある。

(結論)

適切な支援策を講じて多文化対応メニューをレストランに導入すれば言語の壁をなくせる。

## ②意見交換での生徒の意見、要望、提言等

- ・佐野市はハラルの取り組みやクリケットなど外国人から愛される要素があるが、知られていない。SNSを使った宣伝や話題になるような取り組みをするべき。
- ・佐野市は病院に複数言語の指差し表があるなど、英語の支援が充実していると思うので、外国人に知ってもらえるようにすると良いと思う。
- ・佐野市の人に、まずまちが取り組んでいることを知らせてほしい。自分達のまちの状況も知らないと外にアピールもできない。市民を巻き込んで全員でアピールしていくべきだと思う。

## ③議員の所感

- ・日常の熱心な研究の成果がうかがわれる有意義な分科会となった。特に、彼らは、飲食店関係の市民の皆様や関係者との交流を通じて「シビックプライド（都市に対する市民の誇り）」の観点からの市の発展に興味を抱き、今後の将来

性が垣間見えた。

- ・彼らのアイデアが実現可能かどうか、我々議員も今回のテーマの内容を精査・検討していきたいと思う。

### 【魚粉班】

#### ①政策提言の内容

(現状)

外来魚が増加中。しかし、捕獲した外来魚はほとんどが廃棄され有効活用されていない。

(リサーチクエスチョン)

どうすれば駆除された外来魚を有効的に活用できるのだろうか。

(仮説)

外来魚を、手軽に扱いやすい魚粉に加工すれば、作物を育てる肥料として有効活用できるのではないかな。

(実験)

化学肥料、魚粉、外来魚魚粉をそれぞれ土に混ぜ込み、小松菜を育てた。外来魚魚粉で育てたものが、葉の枚数が一番多くなった。

(展望)

研究を進め、用途や効果を明らかにした後、外来魚魚粉のPRをする。一般方向けにセミナーを開き、参加者に外来魚魚粉を配付して、各自の作物を育ててもらいデータを収集する。最終的には企業に提言して商品化結びつけることが目標。

#### ②意見交換での生徒の意見、要望、提言等

- ・佐野にもブルーギルという外来魚がいるので、佐野市南部の果樹園、そのほかの農家に魚粉を使ってもらい、治験を繰り返し替えて商品化につなげ、外来魚の価値を0から1にしていきたい。

#### ③議員の所感

- ・改めて外来魚の廃棄・有効活用について考えさせられた。

在来魚の生態系の保護の観点から外来魚は全て廃棄処分されており、全国では大量にある事を知った。新たな発想で魚粉に加工し、家庭菜園やJ Aなどを通しての6次産業化も夢ではありません。地域・企業・漁協等の関連団体との連携を図る事により、新たな事業化も図れると共に佐野高校生に今後の更なる研究を期待致しております。

### 【キャンプ班】

#### ①政策提言の内容

##### (現状)

佐野市北部は観光資源が少なく、人を継続して呼び込めていない。しかし、北部は豊かな自然や広大な土地がある。

##### (リサーチクエスチョン)

佐野市北部を豊富な自然を使って活性化することができるか。

##### (仮説)

キャンプ場をPRすれば、多くの人を呼び込むことができるのではないか。

##### (キャンプ場をPRすることのメリット)

- ・様々なイベントの拠点に
- ・佐野市の伝統工芸品「天明鋳物」をキャンプ用品として活用できる 例：スキレット、鉄板
- ・キャンプの人気が増加している

##### (問題点)

- ・佐野市北部の観光客入込数が少ない。
- ・10～20代のキャンプ場利用者が少ないこと。
- ・冬季キャンプは人気なのに冬季は休業してしまう。

##### (解決策)

- ・キャンプ場で様々なイベント（自給自足体験・川遊び・紅葉狩り・天体観測）を開催。
- ・SNSを利用したサービスを提案する。
- ・天明鋳物を活用する。

##### (考察・結論)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場をPRすることで北部に人が集まり、回遊型で観光を楽しんでいただくことで佐野市全体の活性化につながる。</li> <li>・キャンプはコロナ禍でもソーシャルディスタンスを保った娯楽の提供が可能である。</li> </ul> <p>②意見交換での生徒の意見、要望、提言等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルタウンの人を巻き込んでキャンプに来てもらうというつながりができるではないか。佐野市北部を活性化して佐野市全体の知名度を高め、明るいまちにしてほしい。</li> </ul> <p>③議員の所感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光立市を掲げている本市として、大変参考になる研究テーマ、内容であった。新たな事業として行政に対して進めたいものであった。しっかりとしたアウトラインをたて、現状の分析、課題、問題点を把握して、それぞれの解消策（提案、提言）をまとめられていた。また、キャンプ用品として天明鋳物の活用を結びつけた発想力も素晴らしい事でもあった。今後の更なる研究の取り組み、展開を期待致します。</li> </ul>
<p>3. アンケートでの生徒及び先生からの意見、要望、提言等</p>	<p><b>【生徒】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実は、佐野市は現在のままだでも他から愛され、魅力的な要素は沢山あります。そこで、今足りてないのは「アピール力」だと思われます。若者、外国人にはSNS、年配の方々には分かりやすいチラシなど幅広い客層に合わせた宣伝力が必要です。</li> <li>・今回の代表班だけでなく、たくさんの方が課題研究に取り組んでいるので、もっと多くの班がこういう機会を与えていただけると良いのかなと思いました。</li> <li>・佐野市のアプリの中にクリケットを入れてほしいです。</li> <li>・議員の方々だけでなく、市役所の方々とも交流できるとよいと思いました。</li> </ul>

**【先生】**

- ・何か1つでも市政で実施できる（できた）ものがあれば、後でご連絡いただければと思います。
- ・校外での発表をご提供いただければと思う。
- ・市側からも何らかの問題提起があり、それを高校生目線で考える取組みもあるとよいのではないかと思います。交通の問題や、人の動きなども（電車の時間、バスの時間、道路など）どうあったらよいかなど、生徒目線でも考えることが多いかと思います。